



第2回, 発生細胞生物学ミニワークショップ

ゴルジ体と小胞輸送研究の最前線

ミシガン大学のWang博士の来学に合わせて、近隣から2名の若手研究者をお招きしてゴルジ体を中心とした小胞輸送研究の最新の話題を提供して頂きます。学生の皆さんも是非多数ご来場頂き研究の最先端に触れてください。

- 16:30 中村 暢宏 教授 (京都産業大学・総合生命科学部)
「はじめに」
- 16:35 石田 竜一 博士 (総合生命科学部・プロジェクトポスドク)
「Structure and function of GM130-GRASP65 complex」
- 16:50 吉村 信一郎 博士 (大阪大学大学院医学系研究科・助教)
「Family-wide characterization of the DENN domain Rab GDP-GTP exchange factors」
- 17:15 申 惠媛 (Hye-Won Shin) 博士 (京都大学・薬学研究科・准教授)
「Interplay of lipids and proteins in intracellular membrane traffic」
- 17:40 Yangzhuang Wang 博士 (ミシガン大学・分子細胞発生生物学・准教授)
「Golgi Biogenesis, Function, and Defects in Diseases」

日時：2012年11月21日(水) 16:30～18:30

場所：15号館・15102 セミナー室

世話人：生命システム学科 中村暢宏 (075-705-3018)

主催：京都産業大学総合生命科学部